

ブラジルにおける主要な模倣品対策とその効果



ルイ・ロズエ (Louis Lozouet)
Global IP Brazil パートナー
ブラジル弁護士・フランス弁護士

1. 模倣品対策導入の背景

経済のグローバル化と国際貿易の激化の中で、知的財産権（IP）の中核をなすアイデアと知識は、特に幸福度の向上と社会経済発展の改善への貢献にますます重要な役割を果たしてきている。これを踏まえ、ブラジルは2004年以降、知的財産権侵害との闘いにおけるパラダイムシフトを開始した。このパラダイムシフトは、時代や場所、技術の進歩や社会的背景によってさまざまな形態をとる海賊版行為や偽造行為が示すダイナミズムに対抗するために不可欠である。

実際、偽造品との闘いは長い間、社会が直面する最重要課題のひとつであった。製品のコピー、知的財産の不適切な使用、著作権の軽視などの法律違反や権利侵害行為は、その国に大きな問題を引き起こす可能性がある。

国際組織犯罪に対抗するグローバル・イニシアティブ（GITOC）によると、模倣品の生産と流通の影響は広範囲かつ世界的だが、ブラジルの状況は特に憂慮すべきものだという。実際、偽造と密輸はブラジル経済に年間約780億米ドルの損失をもたらしている。¹これは、合法的な貿易に影響を与えるだけでなく、税収の減少（230億米ドルの税収の損失に相当）、雇用の損失（37万人の雇用の減少に相当）にもつながり、多くの経済セクターに悪影響を及ぼしている。²

2022年、世界的組織犯罪インデックス（Global Organized Crime Index）³は、模倣品の取引に関する193カ国のランキングで、ブラジルを171位に位置づけた。ブラジルにおける違法市場のもう一つの重要な側面は、他国原産の製品の侵入である。ブラジルの税関報告書によると⁴、ブ

1 https://static.portaldaindustria.com.br/portaldaindustria/noticias/media/filer_public/2c/eb/2cebf9f4-12b4-4410-a872-a3e1b1417ca6/nota_tecnica.pdf

2 https://static.portaldaindustria.com.br/portaldaindustria/noticias/media/filer_public/2c/eb/2cebf9f4-12b4-4410-a872-a3e1b1417ca6/nota_tecnica.pdf

3 <https://ocindex.net/2023/heatmap/>